



主催者挨拶

### 全国漁港漁場協会会長

橋本 牧



会場の皆さんこんにちは。本日は全国から大勢の皆さまにご参加いただき誠にありがとうございます。

今年も我が国は、多くの災害に見舞われました。各地で豪雨災害や強大な台風の影響が相次ぎました。

また、大阪府や北海道などでは大規模な地震被害が発生しました。おこたまりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けた方々の方々に心よりお見舞い申し上げます。

本大会の開催にあたり、大阪府、泉佐野市、大阪府漁業協同組合連合会及び大阪府漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

特に、先月の台風21号により各地元が大きな被害を受けられ、復旧に邁進される中、当大会の開催に向けて尽力いただいた大阪府漁港漁場協会の会長である、千代松大耕農佐野市長のリーダーシップに、心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。

また、人口減少により地方の力が弱まり、漁港や漁場に関する地域の声が行政に届きにくくなることを恐れます。男性も、女性も、若者も、ベテランも、様々な人たちが意見を出し合い、行政と力を合わせて事業に反映させる。そのことで皆さんの抱えている課題が少しずつ改善されてこそ、水産業や地域の豊かな未来が実現できるようなことになっていくべきです。

本日はどうか宜しくお願い申し上げます。

関係の皆さんにおかれましては、引き続き漁港・漁場・漁村の整備を総合的に推進して頂き、国民に対する水産物の安定供給、そして「水産業と漁村の維持・発展」のためご尽力を頂きたいと、心より祈念いたす次第であります。

第六十九回全国漁港漁場大会の開催にあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

まず、忙しい公務のなかご出席いただきました、高島修一農林水産副大臣はじめ政府関係の方々、堂故茂参議院農林水産委員長及び大阪府漁港漁場協会の後援を頂きました。

さて、我々水産業界は、今年4月に策定された「水産基本計画」に続き、本年6月に発表された「水産政策の改革」について、引き続き強い水産業の構築に向け、構造改革の推進に向けて取り組んでいくべきです。

この大阪における第六十九回全国漁港漁場大会の開催、誠にありがとうございます。

本日は、高島修一農林水産副大臣、そして多くの議員の先生方をお招きとしてお迎えすると共に、本年6月に発表された「水産政策の改革」について、踏まえた上で、業界最大の使命である「国民に対する水産物の安定供給」を果たすべく、水産業の成長産業化を進め、国際競争力のある強い水産業を確立するための関係の皆さんにおかれましては、引き続き漁港・漁場・漁村の整備を総合的に推進して頂き、国民に対する水産物の安定供給、そして「水産業と漁村の維持・発展」のためご尽力を頂きたいと、心より祈念いたす次第であります。

結びにあたり、大日本水産会は、引き続き皆様と共に「水産日本の復活」の実現のため全力を尽くすことをお誓いするとともに、全国の漁港・漁場関係の皆様のご発展を心より祈念し、全国漁港漁場大会開催に当たったお祝いの言葉とさせていただきます。

お集まりの漁港・漁場の関係の皆さんにおかれましては、引き続き漁港・漁場・漁村の整備を総合的に推進して頂き、国民に対する水産物の安定供給、そして「水産業と漁村の維持・発展」のためご尽力を頂きたいと、心より祈念いたす次第であります。

本日は、全国より、浜を熟知しておられる皆様が一堂に会され、水産環境整備等について提言を行われると伺っております。私は、皆様のご提言を踏まえ、参議院農林水産委員会において活発かつ有意義な議論が行われるよう、全力で取り組んでまいります。

最後に、本大会のご成功と、皆様方の健康、ご活躍をお祈り申し上げます。私の挨拶といたします。

祝辞

### 農林水産副大臣

高島 修一



本日ここに、全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

東日本大震災が発生して約七年半、また、今年も全国各地で災害が相次ぎ、七月の豪雨災害やその後台風被害等により多くの方がおこたまり、また、被災されました。心からお悔やみとお見舞い申し上げます。

いを申し上げます。農林水産省として、被害にあわれた農林漁業者の皆様へ寄り添って、復旧・復興に向けて全力を挙げて取り組んでまいります。

さて、本大会は、漁港・漁村の総合的整備と漁港の合理的利用の促進を目的として開催され、昭和二十四年の第一回大会以来、本年で六十回を迎えることとなりました。

この間、関係者の皆様方が、漁港・漁場・漁村の整備促進はもとより、水産業が抱える様々な課題に積極的に取り組んでこられたことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国の水産業を取り巻く環境は、世界的な水産物需要が増大する一方、我が国においては本格的な人口減少社会が到来するなど大きく変化しています。

このようなか、昨今、今後の水産施策の方向を示した水産基本計画が閣議決定されるとともに、去る六月一日には、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、「水産資源の適切な管理」と「水産業の成長産業化」を両立させ、漁業者の所得向上などを目指す「水産改革」が決定されたこと、現在全国の漁業者の皆様への説明とともに、真に実のある改革に向け、必要な予算の確保と法整備に向けた準備を進めていること、

また、水産改革と大いに関係する水産基盤の整備につきましても、昨年三月に閣議決定された漁港漁場整備長期計画に基づき、水産業の競争力強化や海域の生産力向上、大規模自然災害への対応、漁村にきざいの創出など四つの重点課題について計画的に事業を推進すること、特に来年度については、水産改革を支援するため、流通構造改革や養殖業の発展に向けた環境整備の面で重点的に対応していくことと

今後とも、水産資源の適切な管理と漁業の成長産業化に向け、水産基盤整備事業等に必要予算の確保と制度の充実が図られるよう努力してまいります。

結びに、本大会の成功と、我が国水産業・漁村の益々の発展、並びに本日御出席の皆様方の御健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞

### 大日本水産会会長

白須 敏朗

代表：大日本水産会 常務理事 長岡英典



この大阪における第六十九回全国漁港漁場大会の開催、誠にありがとうございます。

本日は、高島修一農林水産副大臣、そして多くの議員の先生方をお招きとしてお迎えすると共に、本年6月に発表された「水産政策の改革」について、踏まえた上で、業界最大の使命である「国民に対する水産物の安定供給」を果たすべく、水産業の成長産業化を進め、国際競争力のある強い水産業を確立するための関係の皆さんにおかれましては、引き続き漁港・漁場・漁村の整備を総合的に推進して頂き、国民に対する水産物の安定供給、そして「水産業と漁村の維持・発展」のためご尽力を頂きたいと、心より祈念いたす次第であります。

結びにあたり、大日本水産会は、引き続き皆様と共に「水産日本の復活」の実現のため全力を尽くすことをお誓いするとともに、全国の漁港・漁場関係の皆様のご発展を心より祈念し、全国漁港漁場大会開催に当たったお祝いの言葉とさせていただきます。

お集まりの漁港・漁場の関係の皆さんにおかれましては、引き続き漁港・漁場・漁村の整備を総合的に推進して頂き、国民に対する水産物の安定供給、そして「水産業と漁村の維持・発展」のためご尽力を頂きたいと、心より祈念いたす次第であります。

祝辞

### 参議院農林水産委員長

堂故 茂



第六十九回全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、参議院農林水産委員会を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

まず、忙しい公務のなかご出席いただきました、高島修一農林水産副大臣はじめ政府関係の方々、堂故茂参議院農林水産委員長及び大阪府漁港漁場協会の後援を頂きました。

さて、我々水産業界は、今年4月に策定された「水産基本計画」に続き、本年6月に発表された「水産政策の改革」について、引き続き強い水産業の構築に向け、構造改革の推進に向けて取り組んでいくべきです。

この大阪における第六十九回全国漁港漁場大会の開催、誠にありがとうございます。

本日は、全国より、浜を熟知しておられる皆様が一堂に会され、水産環境整備等について提言を行われると伺っております。私は、皆様のご提言を踏まえ、参議院農林水産委員会において活発かつ有意義な議論が行われるよう、全力で取り組んでまいります。

最後に、本大会のご成功と、皆様方の健康、ご活躍をお祈り申し上げます。私の挨拶といたします。



# ○神奈川県三浦市

講演者：三浦市長 吉田英男  
演題：三崎漁港の高度衛生管理と活性化について



<講演概要>  
三浦市は、古くからマグロのまちとして発展してきたが、近年、マグロの取扱量は減少傾向にある。取扱量の復活、「三崎マグロ」ブランドの更なる強化を図るべく、農林水産大臣をお招きして完成を祝った、我が国初の冷凍マグロ専用低温卸売市場の整備等、三崎漁港の高度衛生管理と活性化の取組について紹介した。



# ○和歌山県串本町

講演者：和歌山県串本町総務課副課長・防災防犯グループ長 梶谷徳彦  
演題：串本町の防災対策とまちづくりについて



<講演概要>  
串本町は、紀伊半島を背に三方を海に囲まれ、本州最南端に位置する漁業の盛んなまちである。いつか必ず起こるとされている南海トラフ地震・津波に対し、「串本町津波防災地域づくり推進計画」に基づく避難路や防災施設整備等に努めており、災害に強い地域づくりについて紹介した。

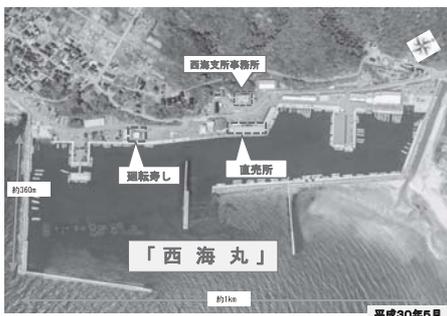


# ○石川県志賀町

講演者：石川県漁業協同組合西海支所運営委員長 高岩 権治  
演題：西海丸から「にぎわい」を ～富来(とぎ)漁港、そして地域に～



<講演概要>  
石川県漁協西海支所では、富来漁港内の水域でブリ、サバなどの畜養やサーモンの養殖により漁港施設の有効活用を図るとともに、港内に開店した鮮魚直売所及び廻転寿し「西海丸」を通じて、魚介類、漁業、漁港の魅力を発信し、新たな地域活性化を目指している。



漁港を一望できる「西海丸」の店内

意欲的な取組みの現地報告(事例発表の要旨)

# ロビーで企業展示等の催しも



## 第69回全国漁港漁場大会来賓一覧

(順不同、敬称略)

出席された国会議員		
農林水産副大臣 衆議院議員	高鳥 修一	
参議院農林水産委員会委員長 参議院議員	堂故 茂	
参議院議員 (自由民主党)	江島 潔	
衆議院議員 (自由民主党)	神谷 昇	
衆議院議員 (自由民主党)	谷川 とむ	
参議院議員 (公明党)	杉 久武	
衆議院議員 (立憲民主党)	堀井 亜紀子	
衆議院議員 (日本維新の会)	丸山 穂高	

代理の方が出席された国会議員他 (到着順)		
衆議院議員	遠藤 敏	
参議院議員	太田 房江	
日本共産党	清水 忠史	

出席された来賓 (行政機関・団体等)		
水産庁漁港漁場整備部長	岡 貞行	
(一社) 大日本水産会常務理事	長岡 英典	
(一財) 漁港漁場漁村総合研究所理事長	高吉 晋吾	
(一社) 水産土木建設技術センター理事長	宇賀神 義宣	
(一社) 全日本漁港建設協会会長	長野 章	
(公社) 全国豊かな海づくり推進協会総務部長	佐々木 晋裕	

出席された来賓 (大阪府)		
大阪府副知事	竹内 廣行	
大阪府議会環境農林水産委員会委員長	中谷 恭典	
大阪府議会環境農林水産委員会委員	垣見 大志朗	
大阪府漁港漁場協会副会長 (岬町長) 代理 理事	早野 清隆	
大阪府漁港漁場協会理事 (堺市長) 代理 農水産課 課長	竹中 和司	
大阪府漁港漁場協会理事 (高石市長) 代理 副市長	小林 眞一	
大阪府漁港漁場協会理事 (岸和田市長)	永野 耕平	
大阪府漁港漁場協会理事 (田尻町長)	栗山 美政	
大阪府漁港漁場協会理事 (泉南市長) 代理 産業観光課 課長	大原 崇	
大阪府漁港漁場協会理事 (阪南市長)	水野 謙二	
大阪府漁港漁場協会理事 (泉佐野漁業協同組合代表理事組合長)	三好 正広	
大阪府漁港漁場協会理事 (岡田浦漁業協同組合代表理事組合長)	佐野 孝広	
大阪府漁港漁場協会理事 (西島取漁業協同組合代表理事組合長)	相良 康隆	
大阪府漁港漁場協会監事 (春木漁業協同組合代表理事組合長)	石田 茂	
泉佐野市議会議員議長	辻中 隆	
泉佐野市議会議員副議長	大和屋 貴彦	
泉佐野市議会議員総務産業委員長	野口 新一	
泉佐野市議会議員総務産業副委員長	布田 拓也	

## 第69回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下された方々 (順不動、敬称略)

自由民主党総裁	安倍 晋三
参議院農林水産委員長	武蔵 容治
参議院議員	田村 憲久
参議院議員	関 芳弘
参議院議員	佐々木 隆博
参議院議員	松本 純
参議院議員	藤井 比早之
参議院議員	高路 拓馬
参議院議員	金子 万寿夫
参議院議員	谷川 とむ
参議院議員	石破 茂
参議院議員	高澤 博行
参議院議員	山本 幸三
参議院議員	三原 朝彦
参議院議員	佐藤 茂樹
参議院議員	堀山 弘志
参議院議員	金子 恭之
参議院議員	山口 俊一
参議院議員	又市 征治
参議院議員	二之湯 智
参議院議員	石川 博崇
参議院議員	中西 裕介
参議院議員	太田 房江
参議院議員	木村 義雄
参議院議員	末松 信介
参議院議員	野村 哲郎
参議院議員	山田 修路
参議院議員	西田 昌司
参議院議員	松沢 成文
参議院議員	金日子
参議院議員	鶴保 康介
参議院議員	吉川 ゆうみ
大阪府議会議員	松浪 武久
全国離島振興協会会長	荒木 耕治

## 企業等展示参加団体

- JA大阪泉州農業協同組合  
大阪タオル工業組合  
特産品締結自治体コーナー
- (一社) 全日本漁港建設協会  
(一財) 漁港漁場漁村総合研究所  
(一社) 水産土木建設技術センター  
漁港プレキャスト工法研究会  
(一社) 漁港漁場新技術研究会  
(日建工学(株)、(株)海中景観研究会、(株)チスイ、(株)不動テトラ  
JFEエンジニアリング(株)、東洋建設(株)、日立造船(株)  
(株)クボタケミックス、ヤマハ発動機(株)、海洋土木(株)

# 歓迎レセプション



千代松大阪府漁港漁場協会会長(泉佐野市長)

10月25日、午後5時から泉佐野市のスターゲイトホテル関西エアポートにおいて、(公社)全国漁港漁場協会と大阪府漁港漁場協会の共催で歓迎レセプションが行った。

乾杯後、鳥羽一郎のライブ

引続き岡田浦水産庁漁港整備部長より来賓挨拶を賜り、乾杯の音頭を永野耕平大阪府漁港漁場協会理事(岸和田市長)が行った。

その後、ステージではマクロの解体ショーが行われ、美味しいマクロの寿司が振舞われた。全国から参集した多くの参加者による懇談が続いた。



▲岡修副会長(左)と鳥羽一郎氏(右) ▶マクロ解体ショーを上演



## 漁船海難遺児育英会が恒例の募金活動



多くの大会参加者が募金した

全国漁港漁場大会では、「漁船海難遺児育英会」の募金活動が恒例となっている。今大会においても(公財)漁船海難遺児育英会が大会会場において募金活動を行った。多くの大会参加者が募金活動に賛同し、「水色の羽」を胸に付けて大会に臨んでいた。

第69回全国漁港漁場大会の写真は(株)水産経済新聞社の提供

特選  
1席

農林水産大臣賞



# 入賞作品決定!

(公社) 全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会の共催、(一財) 漁港漁場漁村総合研究所と(一社) 水産土木建設技術センターの協賛、水産庁後援による2018漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞作品が、第69回全国漁港漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は9月18日に行われ、入賞作品は、パンフレットにまとめられて大会参加者に配布された。

入賞作品は、特選1席(農林水産大臣賞)1点、特選2席(水産庁長官賞)1点、特選3席(全国漁港漁場協会長賞、全国漁港海岸防災協会長賞、漁港漁場漁村総合研究所理事長賞、水産土木建設技術センター理事長賞)各1点、入選5点、佳作10点で、入賞者は別表の通り。

なお、入賞作品は全国漁港漁場協会のホームページに掲載しています。

特選  
2席

水産庁長官賞



特選  
3席

全国漁港漁場協会会長賞



特選  
3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞



# 2018 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

特選  
3席

全国漁港海岸防災協会会長賞



特選  
3席

水産土木建設技術センター理事長賞



2018漁港漁場漁村海岸写真コンクール入賞者一覧

入賞	題名	氏名
特選1席	銀河への出港	田中 嘉宏(和歌山県紀の川市)
特選2席	いつときの出漁の男たち	門林 泰志郎(福島県いわき市)
特選3席	僕も大きくなったら船長	掛村 一憲(北海道札幌市)
特選3席	天空の水鏡	斎藤 孝子(岡山県岡山市)
特選3席	段畑の見える漁港	横山 雪子(香川県観音寺市)
特選3席	それいけー	山本 幸平(三重県志摩市)
入選	神秘的な砂紋	木原 進(熊本県熊本市)
入選	皆で一緒に網修理	米尾 暢人(神奈川県横浜市)
入選	夕暮れの操業	松山 進(神奈川県横浜市)
入選	水中海女	井田 金久(三重県志摩市)
入選	船上の笑顔	玉置 良宗(愛知県小牧市)
佳作	豊饒の海	石村 國男(福岡県宗像市)
佳作	アジの大漁	小栗山 秀男(千葉県九十九里町)
佳作	えんぶりの門付け	小西 直昭(埼玉県川口市)
佳作	早春の漁	泉 健一(奈良県生駒市)
佳作	ウニの殻むき	カマタニ ヒサト(岩手県普代村)
佳作	網の補修	庄司 精一(神奈川県川崎市)
佳作	夏の海	藤本 京子(千葉県千葉市)
佳作	日本海の寒空	田中 淳也(石川県小松市)
佳作	灯台と漁火	松井 浩美(京都府長岡京市)
佳作	網つくり	酒井 ミネ子(長崎市雲仙市)

# 長崎県・佐賀県の漁港等を視察



長崎漁港の視察

## 漁港漁場漁村整備促進議員連盟

漁港漁場漁村整備促進議員連盟（会長・徳藤征士郎衆議院議員）は、水産業や漁港漁場漁村の現状と課題を把握し今後の政策に活かすため、10月20日（土）～21日（日）に、長崎県及び佐賀県の漁港等の視察を行った。

この視察には、徳藤征士郎会長、金子原二郎参議院議員（副会長）、北村誠吾衆議院議員（幹事）、長崎県参議院議員、江島潔参議院議員、進藤金吾参議院議員の6名、国会議員が参加した。

また、自民党政務調査会議員連盟（会長・徳藤征士郎衆議院議員）は、水産業や漁港漁場漁村の現状と課題を把握し今後の政策に活かすため、10月20日（土）～21日（日）に、長崎県及び佐賀県の漁港等の視察を行った。

最初の視察地である長崎漁港では、上田裕久長崎副知事及び田上富久長崎市長等から歓迎を受けた。また、高度衛生管理刑罰さびき所を視察した。

船泊漁港では、漁船の大規模な増設と岸壁などの整備状況、新船の漁港では定置網等の補修用地が不足していることや屋根付き岸壁の整備の必要性について説明を受けた。その後、平戸海上ボート（平戸市）の会議室で県内漁業協同組合等との意見交換会が開催された。磯焼け対策の必要性や「教年、潮位が上昇する等から漁港整備の

強化による防災・減災対策が必要、老朽化した漁港施設を更新するための予算が必要など、女性部や若手漁業者、新規就業者を含めた関係者から様々な意見交換が行われた。

翌日は、漁船1分乗して青島漁港へ行き、友田吉春松浦市長から歓迎の挨拶を受けた後、修学旅行生を中心とする2000人を民泊で受け入れる体験施設等の取組について説明を受けた。また、阿蘇浦漁港では、双日ソナフォーム鷹島（株）のトラフクと鷹島ロマック養殖施設を洋上から視察し、IoTなどを活用した監視技術につ

いて説明を受けた。その後、佐賀県に向かい、呼子漁港では、御厨秀樹佐賀県農林水産部長の歓迎を受け、川野和正佐賀漁協組合長等現



平戸市内漁協等との意見交換会

### 水産業、漁港漁場漁村の現状と課題把握

### 第19回セミナーを開催

～全日本漁港建設協会～

（一社）全日本漁港建設協会は、10月18日（木）午後1時から東京郊外の石垣記念ホールにおいて、約100名の参加者を得て第19回全日本漁港建設協会セミナーを開催した。

最初に、長野会長から挨拶があり、セミナーは2部構成で行われた。第1部は、「人生100年時代を築く」と題して、元水産庁漁港部長の坂井滋敏氏が、磯焼け（かしくやく）の語源を例に、

地関係者との意見交換が行われた。また、初日の視察後に、平戸市内で視察参加者と地元関係者の方々による「懇談会」が開催された。黒田成彦平戸市長から歓迎の挨拶をいただいた。金子原二郎参議院議員による乾杯の後、参加国会議員からも挨拶が行われ、比田勝昭（一社）長崎県漁港漁場協会会長（対馬市長）による中絶めまでの間、和やかな懇談が行われた。

五感のうち眼は最も大切、眼が良ければ口も舌も舌が保たれる等、人生100年時代をいかに生き抜いていくかが課題であった。また、元運輸省のOBであるNPO法人「海ロマン21」の久田安夫理事長からは、健康寿命イコール平均寿命が理想であり、今年2月16日に閣議決定された「高齢社会対策大綱」をもとに、生涯を通じて切れ目の無い教育、教養

### 2018年秋の叙勲

政府は11月3日に2018年秋の叙勲受章者を発表し、農林水産関係者への伝達式は、13日午後、農林水産省の7階講堂で行われた。漁港漁場関係者では、田中潤児前



田中前会長

### 田中潤児 前全国漁港漁場協会 会長が受章の栄に

（公社）全国漁港漁場協会会長が受章の栄に浴した。田中潤児氏は、水産庁漁港漁場整備部長を退職後、平成18年5月から27年6月までの間、全国漁港漁場協会会長に就任し、漁港関係団体の役員として団体運営に協力するとともに、全国の漁港・漁場・漁村の総合的整備に尽力した。農林水産省の伝達式にあたり、受章者は皇居で天皇陛下に拝謁した。

身を投げ込み直しの場が必要と、人生100年時代を築いていく実践されている方々から奮闘のある講演があった。

第2部では、「漁港建設のICT化」と題して、長野会長による「ICT活用事例への漁港建設の取り組み」、カツツ技研工業（株）情報技術グループチームリーダーの木村善博氏による「ICT活用事例への地方建設の取り組み」の講演

あった。その後、長野会長をコーディネーターとして、「働き方改革」をテーマにしたパネルディスカッションが行われた。パネリストは、山本竜太郎水産庁漁港整備部長、村善博力ナツ技研工業（株）チームリーダー、清水隆成（株）清水組取締役社長、永嶋東亜建設（株）横浜支店プロジェクト室長、黒田和徳調里建設（株）専務取締役、末永則久石建設（株）環境技術部長

このシンポジウムで予定されている演題と講演者は次のとおり。

- ・ 瀬戸内海の漁港漁場の課題と対応 漁港施設老朽化対策へのフレキシブル工法 具体的な環境対策（長野会長）
- ・ 漁港の活性化と環境対策（中央大学研究開発機構 江島温美准教授）
- ・ 赤潮対策をうったための調査と計画（株）エコニクス 鎌寛明氏
- ・ 赤潮対策の土木的手法について（大石建設（株） 末永則久氏）
- ・ 赤潮対策の土木的手法の可能性（北海道大学 今井 郎 准教授）

（一社）全日本漁港建設協会（会長・長野章）は、12月18日（火）午後2時30分から、広島YMCA号館（YMCAGuild）で開催される「赤潮対策シンポジウム」について、申込は、12月10日まで、全日本漁港建設協会事務局まで。参加費は無料。（連絡先等）

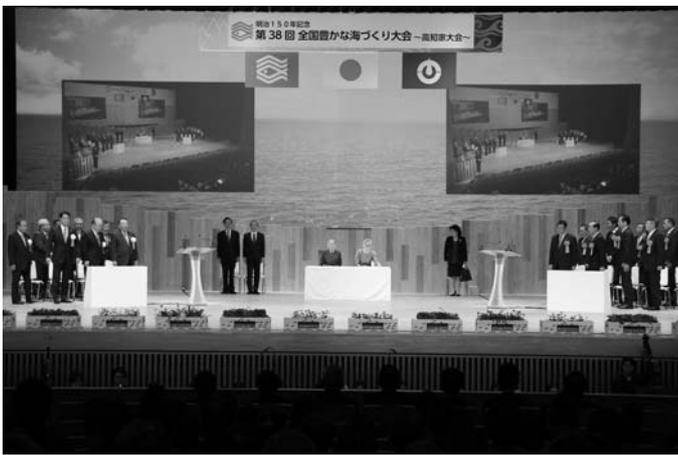
開催案内

（一社）全日本漁港建設協会（会長・長野章）は、12月18日（火）午後2時30分から、広島YMCA号館（YMCAGuild）で開催される「赤潮対策シンポジウム」について、申込は、12月10日まで、全日本漁港建設協会事務局まで。参加費は無料。（連絡先等）

電話：03-6661-1155  
FAX：03-6661-1166  
Eメール：mlahan@zengyoken.jp

第38回

全国豊かな海づくり大会開催



大会式典の様相(写真提供:JFA全漁連)

高知家大会「森・川・海 かがやく未来へ 水の旅」テーマ

明治150年記念 第38回全国豊かな海づくり大会、高知家大会が10月27、28日、天皇、皇后陛下をお迎えし、森・川・海 かがやく未来へ水の旅をテーマに、高知県で開催された。

天皇皇后両陛下がご臨席

28日の式典行事は、瀬田川河口漁業協同組合連合会代表理事会長(高知県漁港漁場協会理事)の一言会のことばで開始された。

第2回理事会を開催

全国漁港漁場協会

(公社)全国漁港漁場協会は、10月25日午後4時30分から大阪府岸野市のスナークレイトホテル関西エアーポート会議室において平成30年度第2回理事会を開催した。

会談議案が作成されたことが説明された。また、第71回全国漁港漁場協会開催地決定の件については、再来年の平成32年度に開催される第71回大会を平成32年10月29日(木)15時より北海道函館市の函館リーナで開催することが審議され、両議案ともに原案通り承認された。



通常総会の様子

平成30年度 通常総会を開催

熊本県漁港漁場協会

熊本県漁港漁場協会(会長・中村五木天直市)は、10月10日午後4時から、熊本市の「ホナール熊本ホール」において、平成30年度通常総会を開催した。

全国豊かな海づくり大会功績表彰団体

Table with 3 columns: 部門 (Department), 賞名 (Award Name), 団体名 (Organization Name). Lists various award winners across different categories like fisheries, water resources, and environmental protection.

平成30年度 福岡県漁港漁場関係研修会を開催

(一社)福岡県漁港漁場協会は、去る11月5日、平成30年度福岡県漁港漁場関係研修会を福岡県の協力のもと福岡市の福岡県中小企業振興センタービルで開催した。



研修会で挨拶する佐藤会長

漁協同組合連合会代表理事 佐竹敏久秋田県知事に大会会長よりのお話へ引き続き、土森正典高知県議会議長の閉会のことばで式典を終了した。

漁港往来 自10月1日 至10月31日. A travel schedule for the fishing port area, listing dates and destinations like Osaka and Fukuoka.